

元住民に直接説明したいとの意向である。③追加のボーリング調査は、県が実施予定である。市独自の調査を実施する考えはない。

自治会組織の再編と未加入者の加入促進について



宮脇 秀隆

質問 自治基本条例の原案が公表され、コミュニティ協議会及び自治会の役割が明確にされているが、特に六百三十二自治会の運営も高齢化等が進み、厳しい状況にあると思われるが、小規模自治会等については、行政・コミ協・自治会一体となって統合再編を研究・検討し行政として支援すべきと思うが、更に未加入者の加入促進策について伺う。

答弁 住民の高齢化が進み集落の運営が難しくなっている自治会が出てきている。再編を必要とする自治体に対しては積極的に合併の事例等説明して努力したい。また、未加入者の加入促進については、転入してこられる方にチラシ等配布し説明をしているが、いろんな事情で加入されない方がいる。市

としても加入促進に努力したい。

観光振興について



小辻 富義

質問 新幹線全線開通が三年後に迫る中で、本市の観光素材をどのように生かすかが大きな課題である。そこで、現在本市で取り組んでいる観光事業は、本土地域、甌島地域を含めどのようなものがあるか、あるいは、今後、どのような事業を柱にしながら取り組む計画があるのか。市長の観光行政に対する考えを伺いたい。



答弁 温泉、歴史、文化、食をうまく組み合わせ滞在型の観光にな

るよう大綱引、フルーツの関係等を中心に売り出していけるよう観光協会のスタッフの強化、観光課の体制強化、飲食店組合や旅館組合等との連携を行っているところである。また、甌島については、観光エージェントを活用し、観光の宣伝をやりながら情報発信し、アピールしていきたい。

新規観光事業について



新原 春二

質問 大河ドラマ「篤姫」の放映は、全国から鹿児島への注目を浴びている。県の働きかけによる大河ドラマ誘致は大成功となっている。二〇一一年新幹線全線開通に向けて新規事業として「薩摩川内エピソード一〇〇」事業、「観光アドバイザー招へい事業」が提案されているが、具体的な事業内容について示されたい。

答弁 薩摩川内エピソード一〇〇事業とは、観光客が訪れたときに名所、歴史遺産など地元の方が説明できるようなものを全世帯に配布するものであるが、予算の問題もある中で、まずは広報紙の中で

紹介していきたい。また、観光アドバイザー招へい事業とは、観光協会の体制強化のため、大手の観光事業に取り組んでいる企業からアドバイザーを派遣してもらい、本市への誘客、受入れ体制の強化、特産品開発、観光コースの設定等を指導してもらうものである。

独居老人、老人世帯の安全安心通報システムについて



中島 由美子

質問 独り暮らしの高齢者や高齢者夫婦の方々にとって、もしもの時に簡単に通報できるシステムが必要である。民間による二十四時間いつでも安心のシステムが作られているようである。市内全地域に、より安心の統一したシステムを導入し、更に周知徹底を図る考えはないか。

答弁 本市では、緊急通報装置を現在、三百七十台設置している。これは、六十五歳以上の独り暮らしの高齢者が申請によって設置できるものである。ただ、通報システムの管理体制が合併前に整備したものであるので、民間委託を含